

# 逗子の景観まちづくり

## 瓦版 第八十四号

「休憩所の掃除で気持ちよく利用」

逗子蘆花記念公園には第一・第二休憩所という施設がある。特に第二の方は海や紅葉など季節ごとに素敵な風景と、電源や水道、トイレもあるので、古民家でゆっくりと休憩ができる。

窓を開けて畳に座り、鳥の鳴き声を聞きながら人数でも仲間とお弁当をここで食べると、ここはどこに旅行へ来たのかと思わせる。逗子なのに逗子ではない感覚になる。一度は味わって欲しい。

私が第二休憩所を利用し始めたのは、毎年秋に開催される実行委員会と逗子市共催の「逗子アートフェスティバル2023」逗子市の事業でないといイベントの開催貸出しは不可)だった。昨年5月、第二休



絵：Enbo Mibori

二〇二四年七月十五日 次号は十月発行予定  
編集 逗子市環境都市部まちづくり景観課  
協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会  
募集 逗子の景観スケッチや六百五十字以内の  
景観に関するコラム等を募集しています。

憩所の会場を知って下見をしたが、人が入るにはうっそうとしており、床は虫だらけ、障子はボロボロであった。そこで、作品展示のためにSNSで声かけをし、掃除をするコミュニティを立ち上げた。10月の開催に向け、9月に2度の大掃除を行い見違えるほど綺麗な施設となった。現在、綺麗になった休憩所としての利用者が増えているとのこと。

このコミュニティは展示で終わりではなく、拡大し続け20名ほどのメンバーとなった。また、掃除し続けなければ良い状態を保てないので2ヶ月に一度は空気の入れ替えやハウスキッキング、汚れた場所の雑巾掛けなどを行っている。第一休憩所も掃除をしてこちらも綺麗な状態となった。今後は施設の様々な問題解決をし、沢山の方々に利用と素敵な場所を保てるように引き続き、逗子市と協力しながら行っていききたいと思っている。

文 たかけるおねえさん



絵：Enbo Mibori

二四九・八六八六  
逗子市逗子五丁目二番十六号  
逗子市まちづくり景観課 瓦版係  
電話 〇四六・八七三・一一一一  
ファックス 〇四六・八七三・四五二〇  
machi@city.zushijg.jp



# 市制 70 周年記念『まちなみデザイン返子』実践スポット募集

－ 返子のステキな景観を共有しよう －



「まちなみデザイン返子実践スポットに応募しよう！」

返子の美しいまちなみや景観を保全し、また作り育てていくために、すてきな家や店、活動などを「まちなみデザイン返子の実践スポット」として認定し、その中からより優れているものを「まちなみデザイン返子賞」として表彰します。

募集期間：～令和 6 年 8 月 30 日（金）

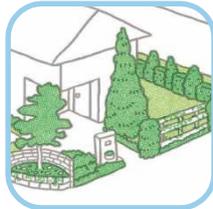
自薦・他薦は問いません。認定申請書（まちづくり景観課で配布。市のホームページからも入手可）まちづくり景観課へ提出してください。



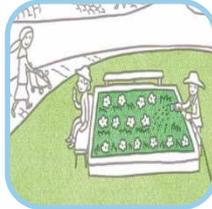
まちなみデザイン返子  
『みんなで景観を考える本』  
心地よいまちなみをつくるヒント集！



応募方法は HP に掲載



建築物・外構(緑化)



活動(美化活動)



店舗・広告物



認定箇所には  
認定プレート  
を配布します。

これまでの実践認定スポットを一部紹介します！



【建築物と外構の調和】

植栽が建築物と調和し、かつ素敵な沿道景観を形成しています。



【共同住宅外構の美化活動】

沿道景観の潤いをもたらすため、住民自ら草花の植樹・手入れをしています。



【憩いのスポット ポケットパーク】

民有地であり、通行人に向けて開かれたポケットパークとして提供されています。

## － 古墳発見 25 周年記念古墳見学会に参加して －

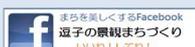
4 月 28 日（日）『古墳発見 25 周年記念古墳見学会（瓦版 83 号紹介イベント）』に参加しました。長柄桜山古墳群は、今から約 1600 年前（4 世紀後半ごろ）に築造された、現存する県内最大の前方後円墳 2 基で構成される古墳群です。平成 11 年 3 月に現在の第 1 号墳で、葉山町在住の東家洋之助さんが埴輪（はにわ）を発見したことをきっかけに、その存在が知られることになりました。

「長柄桜山古墳をまもる会」会員のみなさまにガイドをしていただきながら、整備後の第 1 号墳からハイキングコースを歩き 2 号墳へ。

第 1 号墳から少し降りたところに展望台と高木に設置させたブランコがあります。大崎公園の岬、江ノ島、富士山そして返子市内のまちなみがよく見えます。2 号墳からも江の島や富士山を望むことができます。気分は 4 世紀古墳時代までタイムスリップ！そんな気分で、現在の返子のまちなみを見下ろしながら周辺景観を楽しむことが出来、貴重な体験ができました。ハイキングコースを歩きながら考古学に触れ、海への眺望を楽しみ、そのまま海岸へ、市街地からこんなショートトリップが出来るのも返子のよさですね。



瓦版編集担当 返子市環境都市部まちづくり景観課



返子市 HP やフェイスブックも見てね！

瓦版のバックナンバー・瓦版冊子は返子市庁舎二階、まちづくり景観課窓口、市民交流センターに配架しています。